



特定非営利活動法人  
ニッポン・アクティブ  
ライフ・クラブ  
ナルク  
NALC 横浜  
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-24-6  
TEL 045-719-5001  
FAX 045-719-5002  
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp  
http://www.nalc-hama.net/

## 第27回定時総会を書面表決で実施

事務局長 福江 孝夫

昨年に続き今年の定時総会も、5月31日までに返送された回答書にもとづき、書面表決として実施しました。その結果を報告いたします。

◎5月31日時点の会員数：446名

回答者数：297名(67%)

1/3以上の回答数なので、総会は成立。

◎第1号議案：令和2年度活動・決算・監査報告

賛成 256、反対 0、白紙 41

◎第2号議案：令和3年度活動計画・予算案

賛成 254、反対 1、白紙 42

◎第3号議案：令和3年度選任・退任運営委員案

賛成 254、反対 1、白紙 42

◎第4号議案：NALC 横浜運営規則の改定及び細則の新設案

賛成 253、反対 1、白紙 43



以上の結果、すべての議案が可決、成立しました。

なお、回答書に添えて、ある会員から予算案および運営委員の定数について、封書でご意見を頂戴しました。ありがとうございます。とくに予算案は今年度も赤字を前提とせざるを得ませんでした。年度活動計画の第5項目「拠点収支を改善」を具体的に進めていく中で、会員のご協力をお願いしつつ、赤字縮小に努めていきます。

今年の総会において、永年、会員拡大や地域でのボランティア活動にリーダーシップを発揮された西崎史郎さんが運営委員を退任されました。そのご尽力に対して心から御礼を申し上げます。他方、矢野宣興さん(西ブロック)と元石一雄さん(湘南ブロック)が新たに運営委員に就任されました。

現在、横浜拠点の抱えている最大の課題のひとつは、固定化している拠点リーダー層の若返りです。今回、北ブロックリーダーとして15年間、ブロックを牽引して頂いていた吉武道子さん(副代表)が退任され、後任として、甲斐昌彦さんが就任しました。吉武さんのご苦勞に感謝申し上げます。また甲斐さんの決断に敬意を表します。引き続き、他の永年継続役員との交代が可能になるように、会員の皆様のご支援をぜひともお願いいたします。

## 疫病退散

4月末会員数：450名、(男性：190、女性：260)



やさしさも楽しさも  
ある  
ナルク横浜

ブロック	会員数	預託時間点数		奉仕時間	
		3月	4月	3月	4月
北	146	66	84	56	56
湘南	88	20	13	9	33
西	158	25	23	72	71
中央	58	36	27	25	15
合計	450	147	147	162	175

# 今年度ブロック活動計画

## 北ブロック

### 北ブロック活動計画

最大の課題は交流会を活性化することです。この2、3年交流会が停滞しています。皆さんもお気付きの事と思います。何とかしなくてはと思うばかりで時が過ぎました。昨年度はこれにコロナ禍が加わり予定の行事も未消化、参加人数の減少で同じ顔ぶれとなりました。この状況に甘んじるわけにはいきません。

コロナとは上手く付き合いながら「あ一面白い交流会だ、参加しよう」と思っていただけの計画をしたいのです。皆さんも、要望・ご意見・アイデアを出してください。きっちり聞きしっかり交流会に反映します。

北ブロックは以前会員数175名の時がありましたが今は146名、かなりの減少です。会員増強は必定了。 “一人が一人を誘う” この気持ちを持ち続けて下さい。成就を宜しくお願い致します。

## 湘南ブロック

### 湘南ブロック活動計画

昨年度はコロナに多大の影響を受け、立案した計画の75%を中止せざるを得ない結果となり燃焼不良の一年でした。今年度もコロナの影響を多分に受ける1年になるものと想定されます。

1. 一番大切にしている交流会は、コロナともうまく付き合いながら開催できる内容にし、より一層の充実に努めます。
2. 会員拡大は組織維持発展の源です。会員拡大に引き続き取り組みます。
3. 従来の「会員間の助け合い活動」に加え、「地域貢献活動を実現」すべく他団体と共同実施を模索します。
4. 会員の高齢化進展とともに単身生活会員も増加します。対面活動を充実して参ります。



## 西ブロック

### 西ブロック活動計画

今年度もコロナ禍でボランティア活動、交流会共に、計画どおりの活動は難しいことが想定されますがブロック運営委員、お世話役、会員のみなさんと相談しながら進めていきます。

地域貢献奉仕活動としての「いずみ野駅前草取り」、ブロックを分散化した交流会は定着しつつあり今年度も継続していきます。

また、交流会のあり方も「参加して良かった」といえるような内容にさらに改善していく必要があると考えます。

昨年度は会員拡大キャンペーンを設定し活動をしましたが、いろんな事情で退会者があり、入会者を上回る結果になりました。

多くの会員との接点の場を作る活動を増やし、退会が少なくなるよう努力し、会員拡大に引き続き取り組んでいきます。

## 中央ブロック。

### 中央ブロック活動計画

1. 昨年は「会員増強」を第1の柱に設定し、結果は4名の新しい会員を迎えることができました。今年度も「会員増強」を第1の柱として取り組みます。
2. 昨年は交流会開催が9回にとどまりましたが、1回あたり出席者は13名と一定の成果がありました。今年も「活発な交流会活動」を第2の柱として内容の充実に意を用います。
3. 昨年はコロナ対策の一環としてLINEやZOOMを活用した、リモートによる交流会参加を試行しました。今年も同様な観点からさらにスキルアップを図ります。
4. 今年から初めての試みとして、活発に活動している会員に「ご苦労様」会員獲得のための「望ましいナルクの在り方」も視野に入れたブロック独自の「年間表彰制度」を設けました。ささやかながら会員の皆さんの活動の一助になることを期待しています。



## 新入会員のひとこと

湘南ブロック 村井 清

ナルクと聞くと何か如何わしい新興宗教のように思えるが、以前何度かナルク湘南主催の行事・見学会に参加させて頂き、極めてまっとうな相互扶助の団体であることは承知していました。私のような「末期高齢者」では足も覚束なく助けていただく事は有っても、他人様の手助けが出来るようなことは皆無であろうから入会資格はなかろうと思いましたが、「特段するに及ばず」という事で入会を勧められ、何とかも山の賑わいと「枯れ木会員」として参加させて頂き、ありがとうございました。宜しくお願いいたします。

## ナルク横浜 新たに「のぼり」製作

従来ののぼりは「ナルク」とのみ表示されたシンプルで小さなものでした。

ナルクとはどんな団体かが一目で判る内容表示にすると共に二回り大きくし目立ちやすいものにしました。

今後の地域活動で威力を発揮するものと期待しています。



## 特集号「私の宝物」記事を募集いたします

「赤いくつ」編集委員会では、年一回会員の皆様に呼び掛け「特集号」を発行することとし、初回は「私の旅行記」そして昨年は「私の趣味」を掲載させていただきました。

本年は、「私の宝物」の特集を企画します。有形・無形を問わず奮ってご参加ください。

内容：私の宝物（有形・無形を問いません）

字数：600字程度（写真があれば添付ください）

提出：6月末までに各ブロック長まで（メール・FAX・郵送いずれも可）

掲載：赤いくつ8月又は10月号に掲載予定です



## 私のボランティア活動

移送ボランティア

北ブロック 片倉 壽子

移送ボランティアを始めて、1年と数か月。依頼主は主に、相模原在住の全盲の男性。内容は、第1と第3金曜に自宅から伊勢原の婚約者宅まで、そして翌月曜に逆コースで自宅まで、の其々約1時間の移送依頼でした。

当初は務まるのだろうか、と少々気をもみました。が、案ずるより産むがやすしです。

車の乗り降りにどう安心して頂けるのか？降りてからドア迄の案内は？等率直に伺ったり、手を添えたり、自分の事と立場を変え考えたりでした。車中では道筋や、通過地点、空模様や気候、木々や花々、日常の思いや出来事等を徒然に互いに話しながら走ります。時には、やはり全盲の婚約者が同乗の時もあります。コンビニや、薬局、肉屋等に買い物に立寄り、付き添う事も出てきました。最近では、頑張り屋の彼女と穏やかで優しい依頼主の2人を応援しつつ鋭気を貰っています。



